

新 経 営 10か年計画

自律への新たな出発～自己改革への道筋

第2期実施計画

(平成24年度～28年度)

社会福祉法人
兵庫県社会福祉事業団

新経営10か年計画

自律への新たな出発～自己改革への道筋

第2期実施計画

(平成24年度～28年度)

1 趣旨（実施計画のねらい）

新経営10か年計画（基本計画）（平成21年度策定）に基づく第1期実施計画（平成21年度～25年度）が、昨年度、実施計画策定から3年度を迎え、3か年の取り組みについて、各施設の自己評価結果及び有識者の意見を踏まえ、評価・検証を行った。

この評価・検証結果を踏まえるとともに、福祉・医療をめぐる社会情勢の変化や制度改正等に的確に対応していくため、改めて今後5年間で実施すべき事業・実施時期等を示す第2期実施計画を策定する。

この実施計画に基づき、計画内容のスケジュールの管理とともに、実施内容の評価指標に基づく評価・検証を行う。

2 計画の期間

- ・5年間（平成24年度～平成28年度）
- ・この実施計画については、社会情勢の変化や制度改正等に的確に対応するため、3年毎に評価・見直しを行い、その際に新たに次の5か年の実施計画を策定する。



3 評価指標（目標値）の基本的考え方

事業の進捗状況について、客観的な評価ができるよう、可能な限り数値等の設定を行う。

(1) 評価指標及び目標値の基本的考え方

事業内容の進捗状況が計れるよう、各事業ごとに評価指標及び目標値を設定する。

① 定量評価

目標値が数値化できる事業については、可能な限り具体的な数値目標を設定し、指標の達成度に関する客観的評価を行う。

② 定性評価

目標値が数値化できない事業については、取り組み成果を事業の進捗状況、効果性、継続性等の観点から評価を行う。

(2) 方 法

① 自己評価 事業内容毎に実施施設等において評価を行う。

② 利用者等他者評価

利用者や地域の方々へのアンケート調査、種別施設長会議等での評価を行う。

③ 推進本部会議による進行管理

4 重点目標と主要事業の施策体系

事業団の強みや特色をさらに生かし、3つの重点目標を基本方向として、今後の事業団運営を行っていく。（P2～3）

5 具体的事業のスケジュールと計画内容

（P4～28）

重点目標と主要事業の施策体系

重点目標（事業団が今後10年間に取り組むべき事業の基本方向）

1 利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す

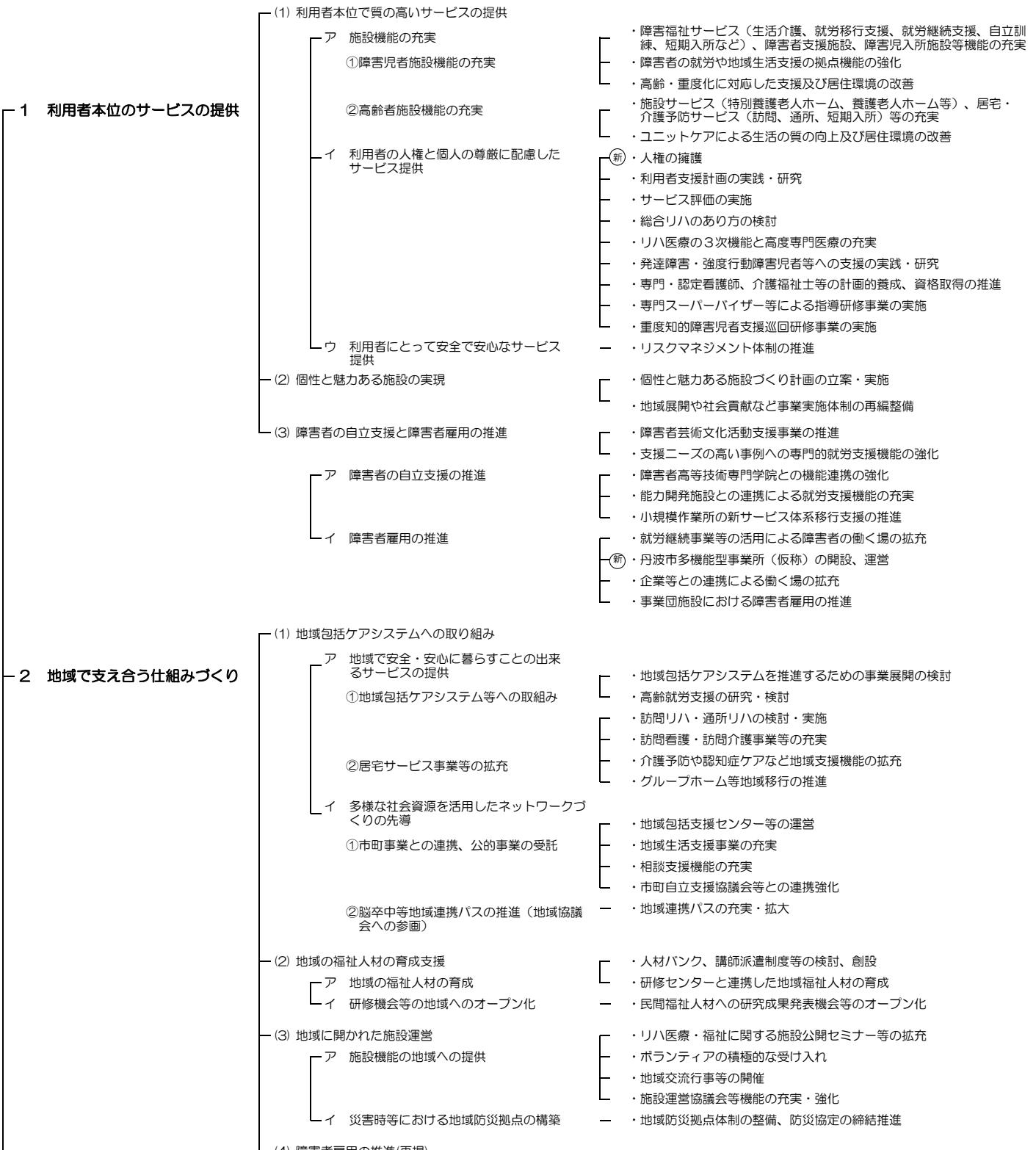
障害児者・高齢者施設、病院等事業団の各施設において、これまで培ってきたノウハウに一層磨きをかけ、利用者本位で質の高いサービスを提供し、安全・安心で利用者や地域から信頼され選ばれる施設づくりを進める。

2 リハ医療と障害・高齢者福祉の牽引役を目指す

リハ医療と福祉の連携による総合力や多様な専門人材、そして、これまでに蓄積したノウハウなど、事業団の強みを最大限に活かし次代を見据えた医療と福祉の先導的な取組みを行うとともに、地域福祉の向上に向けて地域貢献のさらなる実践・定着を図る。

3 経営基盤の自立化に裏付けられた自律経営を目指す

施設の事業団体化に伴い経営基盤の自立化が進む中、より主体性を持った自律経営を目指して、経営基盤の一層の安定・強化に努めると同時に、自律経営を支える職員の計画的育成と人事・組織マネジメントの強化に取り組む。





1 利用者本位のサービスの提供
ア 施設機能の充実

①障害児者施設機能の充実

事業内容	第1期実施計画の実績	評価指標	計画期間		実施時期	中期	実施等
			2.1~2.3年度	2.4年度			
・障害福祉サービス(生活介護、就労移行支援、就労継続支援、自立訓練、短期入所など)、障害児者支援施設、障害児入所施設等機能の充実	・障害福祉センターのサービスの提供 (生活介護事業) 人員配置体制 直接処遇職員配置基準2.5:1→1.7:1(小野、出石成人、五色成人、三木) 夜間看護等体制(出石成人、五色成人、赤穂成人) (訓練系事業) 自立生活訓練センターで生活訓練高次脳機能障害者の受入れを開始(H21)、定員を拡充 12(H21)→24(H22) あゆみの部屋、コスモス事業所を開設生活介護就労継続支援B) (H21) 香美町地域支援センターを開設(生活介護・就労移行、就労継続支援B)(H22)	・利用者本位で質の高いサービスの提供 高齢・重度化に対応した支援 地域移行の推進 社会参加の推進 個別支援の充実 事業目的に沿った多様なサービスプログラムの整備	定性	実施	実施	実施	障害者施設 障害者施設 総合相談所
・障害児者の就労や地域生活支援の拠点機能の強化	・適正な職員配置 障害程度等を踏まえた人員配置体制、夜間看護体制の拡充 障害程度等を踏まえた夜間支援体制の検討 ・障害福祉サービス機能の検証・見直し 障害児入所施設、児童ディサービス、相談支援事業の新制度移行形態の検討(H23) 「サービス評価の実施」(再掲P6) ・良質な人材の確保・育成による機能の充実 「専門・認定看護師、介護福祉士等の計画的養成、資格取得の推進」 (再掲P7)	・障害福祉センターで生活訓練高次脳機能障害者の受入れを開始(H21)、定員を拡充 12(H21)→24(H22) ・障害児者施設、児童ディサービス、相談支援事業の新制度移行形態の検討(H23) 「サービス評価の実施」(再掲P6) ・良質な人材の確保・育成による機能の充実 「専門・認定看護師、介護福祉士等の計画的養成、資格取得の推進」 (再掲P7)	定性	実施	実施	実施	障害者施設 障害者施設 障害者施設 障害者施設
・高齢・重度化に対応した支援及び居住環境の改善	・障害者の就労支援の実施 就業 生活支援センター、障害者専門職業紹介事業所の就職者数 ・障害者(ジョブコーチ)支援事業(能開、出石、五色、赤穂、丹南、三木、小野、あけぼの) ・障害者の地域生活支援のためのグループホームや地域生活支援事業の充実 「グループホーム等地域移行の推進」(再掲P12)	・障害者の就労支援の実施 就業・生活支援センター、障害者専門職業紹介事業所(淡路、西播磨、北播磨) 就職者数 毎年度20名以上 ・職場適応援助者(ジョブコーチ)支援事業の継続実施 職場(能開、出石、五色、赤穂、丹南、三木、小野、あけぼの) ・障害者の地域生活支援のためのグループホームや地域生活支援事業の充実 「グループホーム等地域移行の推進」(再掲P12)	定性・定量	実施	実施	実施	障害者施設 障害者施設
・高齢・重度化に対応した支援及び居住環境の改善	・高齢・重度化に対応した支援の検討・実施 「高齢・重度障害者の生活介護サービスの充実」(再掲P15) 「セラピストと連携したサービスの提供」(再掲P17)	・高齢・重度化に対応した居住環境の改善 高齢・重度化指標(事業団版)の策定	定性	実施	実施	実施	障害者施設
・身体機能の低下等に対応した居住環境の改善 「施設の老朽化等に等に伴う建替え、修繕計画の策定・実施」(再掲P24) 五色精光園成人寮で高齢・重度化への対応(高齢・重度者専用ユニットの整備、夜間看護体制の確保、特殊浴槽の設置など)(H23)	・身体機能の低下等に対応した居住環境の改善 「施設の老朽化等に等に伴う建替え、修繕計画の運用及び検証(H24~)」 丹南精明園高齢者棟の整備と検証(H24~) 検証結果を踏まえた他の知的障害者施設での実践	・身体機能の低下等に対応した居住環境の改善 高齢・重度化に対応した支援のあり方研究の実施と支援への反映 高齢・重度化指標(事業団版)の策定	定性	実施	実施	実施	障害者施設

②高齢者施設機能の充実

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)									
		評価指標		計画期間		21~23年度		短期		中期	
実施時期	実施	実施	実施	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	実施	実施	実施
・施設サービス(特別養護老人ホーム、介護予防サービス訪問、通所、短期入所等)の充実	・高齢者福祉サービスの提供 ことぶき苑、洲本市五色健康福祉総合福祉センター事業開始(H21) (GHでの認知症対応型通所介護や、ハギ特化の通所介護など) ・高齢者福祉サービス機能の見直し実施 毎年度、制度改正、地域ニーズ等踏まえた検証を行い、サービス内容の見直しを実施 「サービス評価の実施」(再掲P6)	・利用者本位で質の高いサービスの提供 個別支援の充実 在宅サービス、居住系サービスの充実 介護予防、重度化予防 医療と介護の連携強化 認知症対応の推進 ・地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み(再掲P11)	定性	継続							高齢者施設 総合相談所
・介護保険事業の業務管理体制の整備 「法令等遵守業務管理規程」を策定(H21) 法令遵守責任者を定め、業務内容点検チェック表に基づく点検を実施 とともに、法令遵守に関する研修を実施	・介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充」(再掲P11) 居宅介護・介護予防サービス等の充実 「介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の充実	・食事・排泄・入浴、個別外出支援の目標値を各施設で設定して実践 H24以降の目標値(毎年度見直し)	—								高齢者施設
・介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充(再掲) P11と同様	・食事・排泄・入浴、個別外出支援の目標値を各施設で設定して実践 H24以降の目標値(毎年度見直し)	・食事・排泄・入浴、個別外出支援の目標値を各施設で設定して実践 H24以降の目標値(毎年度見直し)	—								高齢者施設
・ユニットケアによる生活の質の向上及び居住環境の改善	・食事・排泄・入浴、個別外出支援の目標値を各施設で設定して実践 ユニットケア推進チームを設置し、年度毎に内容を充実 高齢者外出支援で目標を定め、施設毎に目標値を設定(H21~) H23年度未現在	・食事・排泄・入浴、個別外出支援の目標値を各施設で設定して実践 H24以降の目標値(毎年度見直し)	—								高齢者施設
・介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充(再掲)	・ユニットケアによる生活の質の向上及び居住環境の改善 ユニットケア推進チームを設置し、年度毎に内容を充実 高齢者外出支援で目標を定め、施設毎に目標値を設定(H21~) H23年度未現在	・ユニットケアの実践事例を全国セミナー等で発表 (各施設1事例以上)	ユニットケアの実践事例を全国セミナー等で発表 (各施設1事例以上)	—							高齢者施設
・暮らしやすい住環境の改善 万寿の家で、利用者の居住環境の改善を目的とした大規模改修を実施 (H21~22) 朝陽ヶ丘荘で、各ユニットに調理室を整備(H23)	・暮らしやすい住環境の改善 万寿の家で、利用者の居住環境の改善を目的とした大規模改修を実施 朝陽ヶ丘荘で、各ユニットに調理室を整備(H23)	・暮らしやすい住環境の改善 各施設に応じた工夫、改善の実施	ユニットケアの実践事例を全国セミナー等で発表 (各施設1事例以上)								

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)					
		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度 25年度	中期 26年度 27年度	28年度 実施施設等
・人権の擁護	・あつたかサポート実践運動を推進 「サービス評価の実施」(再掲P6)	・あつたかサポート実践運動の実施 「サービス評価の実施」(再掲P6)	定性 継続	実施	実施	実施	全施設
・利用者支援計画の実践・研究	・利用者のニーズを尊重した支援計画の実践と研究 利用者や家族の希望を踏まえて、多職種協働で計画を作成 専門スーパー・ハイサーの協力を得て、「個別支援計画書作成の手続き」を作成	・虐待防止の仕組みづくり(H24) 〔自己点検 通報、相談 マニュアルの作成 ・虐待防止に関する職員の意識改革のための研修を実施 ・権利擁護の取組み プライバシー保護、選択と自己決定の尊重	定性 短期	実施 検討	実施	実施	障害児施設 施設者の家 園の清水が丘学 園高齢者施設 総合リハ(総 合相談所)
・サービス評価の実施	・実践事例研究発表の実施 各施設毎及び施設種別による実践事例発表、研究を実施 事業団の職員研究発表大会や施設実施のセミナー内で対外的に発表	・利用者のニーズを尊重した支援計画の実践と研究 「個別支援計画書作成の手続き」の活用 ICF理論に基づく利用者支援計画の策定	定性 継続	実施	実施	実施	全施設
・サービス評価の実施	・実践事例研究発表の実施 「専門スーパー・ハイサー等による指導研修事業の実施」(再掲P8)	・実践事例研究発表の実施 「専門スーパー・ハイサー等による指導研修事業の実施」(再掲P8)	定性 継続	実施	実施	実施	全施設
・サービス評価の実施	・サービスの自己評価によるサービスの自己点検や改善の実施 サポート項目の見直し(H23) 自己評価の実施	・自己評価の実施 あつたかサポート実践運動の実施 自己評価の実施…年2回	定性 継続	実施	実施	実施	全施設
・サービス評価の実施	・サービスの自己評価によるサービスの自己点検や改善の実施(自己点検、改善の実施)、あつたか サポート項目の見直し(H23) 自己評価の実施	・自己評価の実施 あつたかサポート相互訪問…年1回 第三者評価の自己点検に対する相互訪問調査…3年に1回	定性 継続	実施	実施	実施	全施設
・サービス評価の実施	・サービスの第三者評価等の受審 (障害児者施設、高齢者施設)…5年に1回 (D3) (D2) (H21)、あわじ荘(H22)、あけぼのの家、出石児童、三木、朝陽 (H23) (認知症高齢者GH)…年1回 毎年1回実施 (中央病院) 病院機能評価(H20)付加機能(リハリテーション機能)受審(H21)	・外部評価の実施 サービスの第三者評価等の受審 〔障害児者施設、高齢者施設〕…5年に1回 (認知症高齢者GH)…年1回(H25~2年に1回) (中央病院 西福磨病院)病院機能評価…5年に1回(H25,26年度) (情短施設)…3年に1回 (高齢者施設) 介護サービス情報公表…年1回 (障害児者施設) 家族会等との連携強化事業による評価の実施…年1回 (障害児者施設、高齢者施設、病院) 利用者アンケートの実施…年1回	定性 継続	実施	実施	実施	全施設
・総合リハのあり方の検討	総合リハのあり方勉強会を実施し、総合リハの機能強化方策等について検討を実施(H23)	・総合リハの将来のビジョンの構想 〔総合リハあり方検討会を設置して実現に向けた検討(H24~25) 将来ビジョンを公表、シンポジウムの開催(H26)	定性 短期	検討	公表	公表	総合リハ

・リハ医療の充実	<p>・リハ医療の3次機能と高度・専門医療の充実(対象疾患の拡充) (中央病院) 切断、義肢・器具、脊椎損傷、高次脳機能障害、神経難病等 子どもの睡眠と発達医療センターの開設(H20) ロボットリハビリテーションセンターの開設(H23) (西福音病院) 認知症疾患医療センターの開設(H21) 認知症疾患医療センターの充実 音楽療法、園芸療法の充実</p> <p>・リハビリ医療の充実 (中央病院) 土曜リハの実施(H24～)、休日リハの実施検討 (西福音病院) 休日リハの実施(H24～)、通所リハの実施(再掲P11)</p> <p>・シームレスケアの確立 ・修繕、医療機器の計画的な整備</p>	<p>定性 継続</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>・リハ医療の3次機能と高度・専門医療の充実 「子どもの睡眠と発達医療センターの充実」(再掲P19) 「ロボットリハビリテーションセンターの充実」(再掲P19) 「高次脳機能障害の治療・研究と支援体制の確立」(再掲P15) (西福音病院) 認知症疾患医療センターの充実 音楽療法、園芸療法の充実</p> <p>・リハビリ医療の充実 (中央病院) 土曜リハの実施(H24～)、休日リハの実施検討 (西福音病院) 休日リハの実施(H24～)、通所リハの実施(再掲P11)</p> <p>・シームレスケアの確立 ・修繕、医療機器の計画的な整備</p>	<p>障害児施設 障害者施設 清水が丘学園 こども発達支援センター 支援センター</p>																																							
・発達障害・強度行動障害児者等への支援の実践・研究	<p>・高度な治療的支援機能の拡充 清水が丘学園のあり方検討会(H21)、こども発達支援センター検討委員会(H22～23)への参画による県への提言</p> <p>・発達障害・被虐待児童などに関する専門機関への指導・助言の拡充 (再掲P18)</p> <p>・発達障害・強度行動障害等の各課題について研究・検討 各施設毎及び施設種別による実践事例発表、研究(論文・投稿等)を実施 職員研究発表会や施設美術のセミナーにて対外的に発表</p> <p>・「重度知的障害児者支援巡回研修事業の実施」(再掲P8)</p>	<p>定性 継続</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>・発達障害・強度行動障害等の各課題について研究・検討 「障害児施設・清水が丘学園」 被虐待児童の事例検討会等の実施による、専門知識の向上 (障害者施設) 強度行動障害事例検討会を実施して、支援ニーズの高い事例の検討</p>	<p>全施設</p>																																							
・専門・認定看護師、介護福祉士等の養成推進 等の計画的養成、資格取得の推進	<p>・専門・認定看護師等の養成推進 認定看護師(皮膚・排泄ケア、認知症看護、喂食・嚥下障害看護、脳卒中リハビリテーション看護管理など)各名以上 認定看護管理者(ファーストレベル2人/年、セカンドレベル1人/年、セカンドレベル1人/年)</p> <p>・介護福祉士等の資格取得推進 (障害児者施設)3福祉士の有資格者 22年度14%→23年度19% (高齢者施設)介護福祉士 22年度33.3%→23年度38%</p> <p>・資格取得の推進・支援 新規資格取得者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>資格名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害系施設</td> <td>社会福祉士</td> <td>28</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護福祉士</td> <td>39</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>高齢系施設</td> <td>精神保健福祉士</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護支援専門員</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> </p>	施設種別	資格名	H22	H23	障害系施設	社会福祉士	28	38		介護福祉士	39	36	高齢系施設	精神保健福祉士				介護支援専門員	4	7	<p>定性・定量 継続</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>・専門・認定看護師等の養成推進 認定看護師(皮膚・排泄ケア、認知症看護、喂食・嚥下障害看護、脳卒中リハビリテーション看護管理など)各名以上 認定看護管理者(ファーストレベル2人/年、セカンドレベル1人/年、セカンドレベル1人/年)</p> <p>・介護福祉士等の資格取得 (障害児者施設) 各事業ごとに3福祉士25%以上(福祉専門職配置等加算1)の取得 (高齢者施設) 各事業所ごとに介護福祉士50%以上(日常生活継続支援加算) 介護福祉士6:1以上(日常生活継続支援加算) ・資格取得の推進・支援 新規資格取得者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>資格名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害系施設</td> <td>社会福祉士</td> <td>28</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護福祉士</td> <td>39</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>高齢系施設</td> <td>精神保健福祉士</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>介護支援専門員</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> </p>	施設種別	資格名	H22	H23	障害系施設	社会福祉士	28	38		介護福祉士	39	36	高齢系施設	精神保健福祉士				介護支援専門員	4	7
施設種別	資格名	H22	H23																																								
障害系施設	社会福祉士	28	38																																								
	介護福祉士	39	36																																								
高齢系施設	精神保健福祉士																																										
	介護支援専門員	4	7																																								
施設種別	資格名	H22	H23																																								
障害系施設	社会福祉士	28	38																																								
	介護福祉士	39	36																																								
高齢系施設	精神保健福祉士																																										
	介護支援専門員	4	7																																								

指導研修事業の実施	・専門スーパーバイザーによる指導 現地指導、団体研修の実施（H21～23） ・高齢施設専門スーパーバイザーによる指導 現地指導、フォローアップ研修の実施（H21～23） ・施設設備専門スーパーバイザーによる指導 現地指導、各施設機数名が指導研修に参加しリーダーを養成 ・看護業務アドバイザーによる指導 看護アドバイザー（H20～21）、施設看護指導専門員（H23～）を配置 施設共通の症状別支援マニュアル等を作成	・障害者専門スーパーバイザーによる指導 現場リーダー（ユニットリーダー等）の育成 現場力を高める嘱託員の育成 ・高齢施設専門スーパーバイザーによる指導 現場リーダー（ユニットリーダー等）の育成 現場力を高める嘱託員の育成 ・施設看護指導専門員による指導 巡回指導による、施設看護機能の強化、意識改革の推進、支援現場・ CH・GHとの連携強化 ・キャリア開発リーダーによる人材育成（H24～）	定性 定性・ 定量	・障害児施設専門スーパーバイザーによる指導 現場者施設者による指導 現場力を高める嘱託員の育成 ・施設看護指導専門員による指導 巡回指導による、施設看護機能の強化、意識改革の推進、支援現場・ CH・GHとの連携強化 ・キャリア開発リーダーによる人材育成（H24～）	実施 実施 実施 実施 実施	障害児施設 障害児施設 障害児施設 障害児施設 障害児施設
				・重度知的障害児への支援技術の向上と個別支援の実践に関する巡回研修事業の実施 「重度知的障害児者へのアプローチの仕方」を改訂 巡回研修を実施 ・重度者支援に関するリーダーの育成 知的の障害児者施設に各1名 ・職場内研修及びOJT研修の実施	・重度知的障害児者への支援技術の向上と個別支援の実践に関する巡回研修事業の実施 「重度知的障害児者へのアプローチの仕方」を改訂 巡回研修を実施 ・重度者支援に関するリーダーの育成 知的の障害児者施設に各1名 ・職場内研修及びOJT研修の実施	実施 実施 実施
利用者にとって安全で安心なサービス提供	・専門スーパーバイザーによる指導 現地指導、団体研修の実施（H21～23） ・高齢施設専門スーパーバイザーによる指導 現地指導、各施設機数名が指導研修に参加しリーダーを養成 ・看護業務アドバイザーによる指導 看護アドバイザー（H20～21）、施設看護指導専門員（H23～）を配置 施設共通の症状別支援マニュアル等を作成	・安全・安心総点検の定期的実施 ・避難訓練の実施 火災避難訓練の実施（児童施設：毎月、障害・高齢者施設：年2回以上） 地震・風水害の避難訓練の実施（年1回以上） 地域との防災訓練の実施 ・危機管理マニュアルの見直し ・防災設備等の整備 CH・GHで火災報知設備、スプリンクラー（H24 丹毒、たじま） 緊急避難設備の設置（H24 丹毒、たじま）	定性・ 定量	・安全・安心総点検の定期的実施 ・避難訓練の実施 火災避難訓練の実施（児童施設：毎月、障害・高齢者施設：年2回以上） 地震・風水害の避難訓練の実施（年1回以上） 地域との防災訓練の実施 ・危機管理マニュアルの見直し ・防災設備等の整備 CH・GHで火災報知設備、スプリンクラーの設置 緊急避難設備の設置（H24 丹毒、たじま）	実施 実施 実施 実施 実施	実施施設等 全施設
				・リスクマネジメント体制の推進 「事業団危機管理体制指針」を策定（H21） 危機管理体制指針の設置（H22） 危機管理体制指針定期巡回指導の実施（H23） ・リスクマネジメントに関する個別マニュアルの見直し・検定 で安全対策・実施、各危機管理体制マニュアルを整備 各マニュアルを段階的に整備 CH・GHで火災報知設備、スプリンクラー（36/44か所）を設置	・安全・安心総点検の定期的実施 ・避難訓練の実施 火災避難訓練の実施（児童施設：毎月、障害・高齢者施設：年2回以上） 地震・風水害の避難訓練の実施（年1回以上） 地域との防災訓練の実施 ・危機管理マニュアルの見直し ・防災設備等の整備 CH・GHで火災報知設備、スプリンクラーの設置 緊急避難設備の設置（H24 丹毒、たじま）	実施 実施 実施 実施 実施
事業内容	・施設の建て替え、修繕計画の策定・実施（利用者の安全や良好な生活環境の確保を図り、施設機能を充実させたための施設整備）（再開）	・個性と魅力ある施設づくり計画の立案・実施 立案・実施	・第1期実施計画の実績 第1期実施計画の実績	・第2期実施計画の評価指標（目標値） 評価指標 計画期間 実施時期 2.1～ 23年度 2.4年度 2.5年度 2.6年度 2.7年度 2.8年度	・第2期実施計画の評価指標（目標値） 評価指標 計画期間 実施時期 2.1～ 23年度 2.4年度 2.5年度 2.6年度 2.7年度 2.8年度	実施施設等 全施設
				・個性と魅力ある施設づくり計画の立案・実施 施設毎にチーム、キャッチフレーズの策定（H21～22） ホームページ、パンフレット等による積極的な情報発信（H21～） ・総合リハのあり方の検討（再掲P6）	・個性と魅力ある施設づくり計画に基づく事業展開 ・地域へ認知を図るために情報発信 事業団広報戦略の強化、推進（再掲P7） ・総合リハのあり方の検討（再掲P6）	実施施設等 全施設
地域展開や社会貢献など事業実施体制の再編整備	・地域展開や社会貢献など事業実施体制の再編整備 施体制の再編整備	・個性と魅力ある施設づくり計画の立案・実施 立案・実施	・地域ニーズに沿った事業展開の実施 ・地域関係機関とのさらなる交流・連携強化 ・地域への認知度アップに向けた効果的な情報発信	・第1期実施計画の実績 評価指標 計画期間 実施時期 2.1～ 23年度 2.4年度 2.5年度 2.6年度 2.7年度 2.8年度	・第2期実施計画の評価指標（目標値） 評価指標 計画期間 実施時期 2.1～ 23年度 2.4年度 2.5年度 2.6年度 2.7年度 2.8年度	実施施設等 全施設
				・個性と魅力ある施設づくり計画の立案・実施 施設毎にチーム、キャッチフレーズの策定（H21～22） ホームページ、パンフレット等による積極的な情報発信（H21～） ・総合リハのあり方の検討（再掲P6）	・個性と魅力ある施設づくり計画に基づく事業展開 ・地域へ認知を図るために情報発信 事業団広報戦略の強化、推進（再掲P7） ・総合リハのあり方の検討（再掲P6）	実施施設等 全施設

②個性と魅力ある施設の実現

(3) 障害者の自立支援の推進

ア 障害者の自立支援の推進

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度 24年度 実施	短期 25年度 26年度 実施	中期 27年度 28年度 実施	施設等
		定性・ 定量	定性・ 定量						
・障害者芸術文化活動支援事業の推進	・芸術・文化活動の推進 兵庫県障害者芸術・文化祭への参加、舞台出演、作品展(出展) 地域の文化行事、イベント等に参加 「事業団無形文化財制度」の創設(H23)	・芸術・文化活動の推進 兵庫県障害者芸術・文化祭(舞台部門、作品展)への参加 ・事業団無形文化財制度の認定(H24~)							障害者施設 の「みの家の家 清水が丘学園 高齢者施設
・支援ニーズの高い事例への専門的就労支援機能の強化	・参達障害者や高次脳機能障害者に対する障害者雇用対策特別訓練の実施 参達障害者を対象とした委託訓練「ビジネスコミュニケーション科」 の開講(H21~23) 障害者ヒルメンテナンス技術習得訓練の実施(H21~23)	・参達障害者や高次脳機能障害者に対する職能評価・開発訓練の充実強化 知的発達障害児(特別支援学校等の生徒)の短期職能評価の実施 350人以上/年 知的障害を伴わない参達障害児・者の職能評価・就労準備訓練の実施 24人以上/年 高次脳機能障害者の職能評価・就労支援 36人以上/年							職業能力開発施設
・障害者しごと体験事業協力事業所の開拓	・障害者の就労支援の受託事業(県事業)の実践 障害者雇用就業ネットワーク構築事業の実施 障害者しごと支援員活動事業の実施 障害者しごと体験事業所等新体系移行促進事業の実施(再掲P9)	・障害者の就労支援の受託事業(県事業)の実践 障害者雇用就業ネットワーク構築事業の実施 障害者しごと支援員活動事業の実施 障害者しごと体験事業の実施 小規模操作業所等新体系移行促進事業の実施(再掲P9)							職業能力開発施設
・障害者高等技術専門学院との機能連携の強化	・障害者高等技術専門学院との機能連携の強化 連携強化の検討会の実施(H22~23) 障害者雇用対策特別訓練を実施(再掲)	・障害者高等技術専門学院との連携の強化 障害者雇用対策特別訓練を実施 参達障害者対象委託訓練の実施 高次脳機能障害者対象委託訓練の実施							職業能力開発施設
・能力開発施設との連携による就労支援機能の充実	・能力開発施設との連携による就労支援機能の充実 事業担当者マニユアルに基づき、研修会を実施(H21) 障害者雇用就業支援ネットワーク県レベル会議(県自立支援協議会 就労支援部会)の定期開催	・能力開発施設との連携による就労支援機能の充実 事業担当者マニユアルに基づき、研修会を実施(H21) 就労移行支援事業所職員の研修会の実施 年1回 障害者雇用就業支援ネットワーク県レベル会議の開催							職業能力開発施設
・就労移行支援事業の充実・強化	・就労移行支援事業の充実・強化 就労移行支援事業所の就職者数 (人)	・就労移行支援事業の充実・強化 就労移行支援体制の充実 就労移行支援事業所職員の取得 前職者数 定員の25%以上 前労移行支援体制の充実 前職者数 定員の25%以上 前労移行支援体制の充実							職業能力開発施設
・小規模操作業所の新サービス体系移行支援の推進	・小規模操作業所の新サービス体系移行支援の推進 移行支援事務員、移行支援相談員を配置し、相談研修会、個別相談 を実施して新体系への円滑な移行を推進	・小規模操作業所の新サービス体系移行支援の推進 移行支援事務員、移行支援相談員を配置し、相談研修会、個別相談 を実施して新体系への円滑な移行を推進 30件(H24) NPO法人が事業所を支援する体制の構築・移行推進 個別相談の実施(移行、定着) 移行した事業所のフォーローアップ研修の実施							職業能力開発施設

事業内容	第1期実施計画の実績		第2期実施計画の評価指標(目標値)	
	目標工賃	平均工賃	目標期間 実施時期	計画期間 実施時期
・就労継続事業等の活用による障害者の働く場の拡充	・工賃倍増実施(H19～23) 目標工賃 H24 20,000円 → H25 21,000円 → H26 22,000円			
・新商品の開発、受託作業の確保(パン、クッキー、豆腐、うどん等飲食店、ウエス、リサイクル、清掃、野菜生産など)	・新たな商品の開発、販路の拡大 売れる商品づくり、付加価値の創出、ブランド化に向けた取組み ネット販促の検討			
就労継続支援A型事業所の運営 (小野福祉工場)	・企業等との連携による働く場の拡充(再掲P10)			
就労継続支援A型事業所の運営 (丹波市多機能型事業所)	・開設・運営に向けた検討を実施、基本計画を策定(H23) 生産活動(ハウス栽培、露地栽培) 加工品製造(味噌、ジャム、パン)、カット野菜) 市民農園、食品残渣の活用			
・企業等との連携による働く場の拡充 ・事業団施設における障害者雇用の推進	・企業からの受注事業の拡充 (小野福祉工場) 受託作業の確保 ・企業との連携による就業者・職場実習者の拡充 グループ就労訓練、施設外就労訓練を実施 ・事業団施設における障害者雇用の推進 各施設の障害者の雇用状況調査を実施(H22) 人・事・給と制度見直し検討委員会にて検討を実施 障害者雇用率 H22.6.1現在 5.47%(法定雇用率 1.8%) H23.6.1現在 5.68%(法定雇用率 1.8%)			
・事業団施設における障害者雇用の推進	・障害者雇用の拡大のための具体策の検討 施設ごとに障害者雇用率の検討 ・障害者枠の設定検討 障害者枠の設定検討(6.15%) (法定雇用率2.0%、H24.6.1 5.95%)			

2 地域で支え合うシステムへの取り組み

ア 地域で安全・安心に暮らすことの出来るサービスの提供

①地域包括ケアシステム等への取り組み

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)						実施設等
		計画期間 実施時期	2.1~ 2.3年度	短期 2.4年度 2.5年度	中期 2.6年度 2.7年度	2.8年度	計画期間 実施時期	
・地域包括ケアシステムを推進するための事業展開の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア・リハネットワーク構想計画の策定 ・地域ケア・リハネットワーク(あわじ、北但馬、総合リハ構築)に向けた実践「課題介護保険の新たな制度として「地域包括ケアシステム」が創設されたことから、これを基盤に行政との連携のもと、将来に向けて児童・障害者も含めたケアシステム構築を目指す ・地域リハビリテーション支援体制の推進 総合リハ・地域リハビリテーション支援センターとして各圏域の関係者のネットワークづくりに向けた会議、研修等を実施 ・高齢者の就労支援の研究・検討 高齢者の就労支援のあり方を研究(H22~23) 養護老人ホーム、認知症GHにおいて実践(H22~) 特別養護老人ホームにおいて実践(H23~) 対象者(H23) 認知症GH(24名) 特別養護老人ホーム(24名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築のための新たな事業の検討・実施 淡路、但馬地域での実施検討(H24~) ・地域ケア・リハネットワークの構築 子どもから高齢者・障害者も含めたグローバルな観点をもったユニアーバーサル社会実現のためのケアシステム構築への取組み ・地域リハビリテーション支援体制の推進 「兵庫県・地域リハビリテーション支援センター」の受託運営 地域リハビリテーション推進会議・研修等を実施 全国地域リハビリテーション合同研修会の開催(H25) ・高齢者の就労支援の実践 特別養護老人ホームにおける対象者の拡大(目標60名(6施設)) 生きがいづくりを目的とした活動の実践 ・社会参加の推進 	定性	短~中期	2.4年度 2.5年度	2.6年度 2.7年度	2.8年度	事務局 高齢者施設 総合相談所 立雲の郷
・訪問リハ・通所リハの検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハの実施 訪問看護において、立雲の郷(H20~)、総合リハ(H22~)で実施 ・通所リハの検討、実施 (西播磨病院) 通所リハ事業を実施(H21~) (総合リハ) あり方検討を実施(H22~) ・訪問看護事業の実施 24時間対応や緊急時対応を実施 ・訪問介護事業の実施 たじま荘(ことぶき苑)、洲本市五色(H21~)で訪問介護・介護予防訪問看護を実施 ・訪問介護事業等の充実 訪問看護事業の実施 総合リハ、立雲の郷で訪問看護・介護予防訪問看護を実施 24時間対応や緊急時対応を実施 ・訪問看護事業の実施 たじま荘(ことぶき苑)、洲本市五色(H21~)で訪問介護・介護予防訪問介護を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハの実施 立雲の郷で訪問看護で訪問リハを継続実施 ・通所リハの実施、検討 西播磨病院で実施 総合リハで通所リハの実施検討 ・訪問看護事業の実施 たじま荘(ことぶき苑)、洲本市五色で訪問介護の検討・実施 ・訪問介護事業を推進するための事業展開の検討(再掲P12) 	定性	継続	2.4年度 2.5年度	2.6年度 2.7年度	2.8年度	事務局 高齢者施設 総合相談所 立雲の郷
・介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充 (通所介護・介護予防通所介護) 丹那荘、洲本市五色(H21~)、あわじ庄(ハイリ特化型)(H23~)で実施 (認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護) 朝陽、たじま、あわじ、立雲の郷(あすなろ)、ことぶき苑、ひょうじの里(H23~)で実施 (認知症リハ) 西播磨病院(H23~) ・認知症高齢者GH、デイサービス事業の拡充(再掲P16) ・認知症高齢者地域ケアの実践・研究(再掲P16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防や認知症ケアの実施 (通所介護・介護予防通所介護) 丹那荘、洲本市五色、あわじ庄(ハイリ特化型)で実施 (認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護) 朝陽、たじま、あわじ、立雲の郷、ことぶき苑、ひょうじの里で実施 (認知症リハ) 西播磨病院 ・認知症高齢者GH、デイサービス事業の拡充(再掲P16) ・認知症高齢者地域ケアの実践・研究(再掲P16) 	定性	継続				高齢者施設 西播磨病院

<p>・グループホーム等地域移行の推進 GH・CHにおいて、定員拡大 H20年度末 定員200人(現員179人) H23年度末 45か所、定員233人(現員221人)</p> <p>身体障害者GH・CHの設置の検討(H21～) のぞみの家において、居宅訓練事業を実施して、地域生活移行を推進</p> <p>・多様な社会資源を活用したネットワークづくりの先導 イ</p>	<p>・グループホーム等地域移行の推進 GH・CHの定員拡大 定員241人(H24) → 定員247人(H25)</p> <p>身体障害者GHの設置(起生園)(H25) 居宅訓練事業の実施による、地域生活への移行(のぞみ) 毎年2人以上</p> <p>・多様な社会資源を活用したネットワークづくりの先導 イ</p>		<p>定性・ 定量 継続</p>	<p>実 施</p>	<p>障害者施設 のぞみの家</p>
	<p>訓練者 (うち地域生活移行者)</p>	<p>H21 (3人)</p> <p>H22 (4人)</p> <p>H23 (1人)</p>			
<p>①市町事業との連携、公的事業の受託</p>	<p>第一期実施計画の実績</p>		<p>第二期実施計画の評価指標(目標値)</p>		<p>評価 指標 計画期間 実施時期 21～ 23年度 2.4年度 2.6年度 27年度 28年度 実施施設等</p>
	<p>・地域包括支援センター等の運営</p> <p>・ごしき地域包括支援センターの受託運営(H21～) 指定介護予防支援事業、介護予防マネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的マネジメント支援業務、地域ケア連携等を実施</p> <p>・丹養荘在宅介護支援センターの受託運営、介護相談、実態把握、介護予防教室、地域ケア連携等を実施</p> <p>・介護相談、実態把握、介護予防教室、地域ケア連携等を実施</p>	<p>・ごしき地域包括支援センターの受託運営、 指定介護予防支援事業、介護予防マネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的マネジメント支援業務、地域ケア連携等を実施 介護予防 日常生活総合事業(地域包括ケア)の導入に向けた検討</p> <p>・丹養荘在宅介護支援センターの受託運営、 介護相談、実態把握、介護予防教室、地域ケア連携等を実施</p> <p>・介護相談、実態把握、介護予防教室、地域ケア連携等を実施</p>	<p>定性 継続</p>	<p>実 施</p>	
<p>・地域生活支援事業の充実</p>	<p>地域ニーズに応じたサービスを実施、サービスプログラムを充実 日中一時支援(出石、五色、赤穂、丹南、三木、おおぞら) 児童発達支援、放課後等デイサービス(出石、五色、赤穂、おおぞら) 居宅介護(洲本市五色) タイムケア事業(起生園) 相談支援事業(再掲)</p>		<p>・地域ニーズに応じたサービス実施、サービスプログラム内容の充実 日中一時支援(出石、五色、赤穂、丹南、三木、おおぞら) 児童発達支援、放課後等デイサービス(出石、五色、赤穂、おおぞら) 居宅介護(洲本市五色) タイムケア事業(起生園) 相談支援事業(再掲)</p>		<p>障害者施設 障害者施設 障害者施設 障害者施設 障害者施設 障害者施設 総合相談所</p>
	<p>・相談支援機能の充実</p>	<p>・相談支援事業の実施 障害児者相談支援等を実施</p> <p>・総合リハ相談機能のあり方の検討 各施設の相談支援事業、在宅支援事業を集約し、総合相談所を開設(H22～) 地域支援課として組織化(H23～)</p>	<p>・相談支援機能の充実 サービス等利用計画の策定(H24～) (指定特定相談支援) 総合リハ総合相談所、小野、出石、五色、赤穂、丹南、三木 (障害児相談支援) 総合リハ総合相談所、小野、出石、五色、赤穂 (指定一般相談(地域移行支援)) 総合リハ総合相談所</p> <p>・総合リハ相談支援機能の拡充、発展に向けた事業を推進</p>	<p>批 充 实 施</p>	
<p>・市町自立支援協議会等との連携 強化</p>	<p>・自立支援協議会等との連携強化 市町、地域の自立支援協議会等において、部会の開催や委員として 積極的に参画</p>		<p>・自立支援協議会等との連携強化 市町、地域の自立支援協議会等において、部会の開催や委員として積極的に参画</p>		<p>障害者施設 障害者施設 障害者施設 のぞみの家 総合相談所</p>

(2) 脳卒中等地域連携バスの推進(地域協議会への参画)

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)																				
・地域連携バスの充実・拡大 (中央病院) 脳卒中連携バス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携バスの充実・拡大 <table border="1"> <tr> <td>紹介患者数</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>連携病院数</td> <td>7病院</td> <td>10病院</td> <td>12病院</td> </tr> </table> <p>(西播磨病院) 脳卒中・大腿部骨折連携バス</p> <table border="1"> <tr> <td>紹介患者数</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>連携病院数</td> <td>15病院</td> <td>18病院</td> <td>19病院</td> </tr> </table>	紹介患者数	H21	H22	H23	連携病院数	7病院	10病院	12病院	紹介患者数	H21	H22	H23	連携病院数	15病院	18病院	19病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携バスの充実・拡大 <table border="1"> <tr> <td>中央病院</td> <td>毎年 200人/年</td> </tr> <tr> <td>西播磨病院</td> <td>毎年 160人/年</td> </tr> </table>	中央病院	毎年 200人/年	西播磨病院	毎年 160人/年
紹介患者数	H21	H22	H23																			
連携病院数	7病院	10病院	12病院																			
紹介患者数	H21	H22	H23																			
連携病院数	15病院	18病院	19病院																			
中央病院	毎年 200人/年																					
西播磨病院	毎年 160人/年																					

(2) 地域の福祉人材の育成支援

ア 地域の福祉人材の育成

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)				
・人材バンク、講師派遣制度等の検討、創設	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク・講師派遣制度等の検討(H23) ・人材育成基本方針検討委員会において検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク・講師派遣制度を創設(H24) <table border="1"> <tr> <td>講師派遣の実施</td> <td>講師派遣者数 毎年度50名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〔派遣回数 各登録講師 年1回以上</td> </tr> </table>	講師派遣の実施	講師派遣者数 毎年度50名		〔派遣回数 各登録講師 年1回以上
講師派遣の実施	講師派遣者数 毎年度50名					
	〔派遣回数 各登録講師 年1回以上					
・研修センターと連携した地域福祉人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・研修センターと連携した地域福祉人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・全県拠点施設としての委託研修、自主研修の実施 				
・人材育成の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・研修センターと連携した地域福祉人材の育成 ・介護予防推進介護研修、介護者技能研修、認知症介護研修、サービス管理責任者研修、相談支援従事者研修などを実施 ・地域ニーズ等を反映した研修を企画・実施(脳血管障害ケア・神経難病研修、ボジショニング研修、生環境整備ドイン研修など) ・洲本市五色において、訪問介護員養成研修(2級課程)を実施(修了者数:H22 40名、H23 35名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズ、県施策を踏まえた効率的・効果的な研修の実施 				
イ 研修機会等の地域へのオープン化	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)				
・民間福祉人材への研究成果発表機会等のオープン化	<ul style="list-style-type: none"> ・民間福祉人材への研究成果発表機会等のオープン化 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果発表機会等のオープン化 				
・人材育成基本方針の見直し、改定(再掲)	P20と同様	参考:10法人以上、発表:3テーマ以上				

(3) 地域に開かれた施設運営

ア 施設機能の地域への提供

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度 25年度	中期 26年度 27年度	28年度 実施施設等
		各施設	年1回						
・リハ医療・福祉等の拡充 開セミナー等の開催	・施設公開セミナーの実施 各施設毎に、地域住民、医療・福祉関係者を対象として積極的に実施	・施設公開セミナーの実施 各施設	年1回	実施	実施	実施	実施	実施	全施設
・実習生の受け入れ 各施設で積極的に受け入れ 社会福祉士・介護福祉士実習指導者養成研修を受講	・実習生の受け入れ 各施設における実習生の受け入れ	・社会福祉士・介護福祉士実習指導者を各施設1名以上配置		定性・ 定量	継続				
受講者数	社会福祉士実習指導者 介護福祉士実習指導者	H21 5人	H22 8人	H23 5人					
・ボランティアの積極的な受け入れ	・必要なボランティアの育成やマッチングの実施 各施設で、団体、個人を受入れ 活動メニュー等を検討し、団体、個人に対して情報発信を実施	・ボランティアの受け入れ推進 各施設で、団体、個人を受入れ 活動メニュー等を検討し、団体、個人に対して情報発信を実施		定性	継続		実施	実施	全施設
・地域交流行事等の開催	・地域交流行事等の開催 各施設毎に、利用者、地域住民、関係者等を招いて積極的に実施 地域イベント等の運営委員会に参画し、地域行事に参加、協力 関係団体との共催等、連携による内容充実を推進	・地域に根ざした交流行事の実施 ・地域イベントへの参加・協力の推進		定性	継続		実施	実施	全施設
・施設運営協議会等機能の充実・強化	・施設運営協議会機能の充実・強化 定例会議の開催 施設の取り組みにおける情報発信を実施	・定例会議の開催 年2回以上 認知症高齢者GH・五色ナルビアホール地域密着型特養においては 2か月に1回		定性・ 定量	継続		実施	実施	全施設
イ 災害時等における地域防災拠点の構築	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)	評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度 25年度	中期 26年度 27年度	28年度 実施施設等	
事業内容									全施設
・地域防災拠点体制の整備、防災協定の締結推進	・地域防災拠点の体制の整備 防災協定、福祉避難所の指定 (防災協定)11ヶ所 総合リハスポーツ交流館、出石精和園、五色精光園、丹南精明園、 三木精愛園、たじま荘、ことぶき苑、あわじ荘、丹南寿荘、洲本市五色、 立雲の郷 (福祉避難所)9ヶ所	・地域防災拠点の体制の整備 防災協定、福祉避難所の指定 (防災協定)14ヶ所 西播磨リハ、赤穂、朝陽 締結予定: 西播磨所、12ヶ所 締結予定: 西播磨リハ、赤穂、朝陽 締結予定: 西播磨リハ、赤穂、朝陽	実施						全施設
	・地域との合同防災訓練の実施 消防署、地元消防団、地域住民等と連携した防災訓練を実施 地域の防災訓練に参加	・地域との合同防災訓練の実施 年1回以上							

(4) 障害者雇用の推進(再掲)

(1) 医療・福祉の連携モデル事業の実施
ア 高次脳機能障害、タミナルケア等に関する医療・福祉の連携

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)									
		評価指標	計画期間 実施時期	21～ 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	中期	実施施設等
・高次脳機能障害の治療・研究と支援体制の確立 ・支援普及事業	・高次脳機能障害者サービスの支援体制の確立 ・支援普及事業所への普及啓発 ・各団体・事業所への普及啓発 ・連絡協議会、各団体支援ネットワークの構築 ・受講者数:H21. 208名 → H22. 285名 → H23. 109名 (総合リハ内支援体制) ・高次脳機能障害者ケア研修を実施し、普及啓発を実施(毎年) ・受講者数:H21. 684件 → H22. 1,657件 → H23. 3,685件 ・高次脳機能障害の治療・研究の実施 ・高次脳機能障害の診療件数 中央病院: H22. 205件 → H23. 189件 西瀬磨病院: H22. 153件 → H23. 127件 ・高次脳機能障害患者の外来リハの拡充	・高次脳機能障害支障体体制の確立 ・各団体・事業所への普及啓発 ・連絡協議会、各団体支援ネットワークの構築 ・受講者・家族等への支援(当事者、家族への啓発及び情報共有) ・高次脳機能障害の治療・研究の実施 ・治療・研究に係る医療機器等の計画的整備 ・高次脳機能障害患者の外来リハの拡充、専門医の確保と専門外来の設置	定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	総合リハ 西瀬磨リハ
・地域医療との連携によるターミナルケア(看取り)の実践	・ターミナルケア(看取り)の実践 ・看取り介護に関する指針、ターミナルケアマニュアルを策定 ・ターミナルケアマニュアル加算の実施 ・ターミナルケアマニュアル加算の件数 ターミナルケアマニュアル加算の件数 (件) 万寿の家 H21 H22 H23 朝陽ヶ丘荘 1 9 6 たじま荘 - - - あわじ荘 9 9 12 丹寿荘 8 8 10 五色・サルビア - - 7	・ターミナルケア(看取り)の実践 ・医師、家族、専門職等と施設職員の連携強化 ・ターミナルケアマニュアル加算の策定 ・職員研修の実施 ・メンタルヘルス・ケア等職員研修 ・看取りの実践を推進	定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	高齢者施設
・高齢・重度障害者の生活介護サービスの充実(再掲)	・高齢・重度障害者の生活介護サービスについての研究、実施 ・カリーハウス(nomoi)の運営(三木)(H22～) ・五色精光園成人寮で高齢・重度障害者用ユニットの整備(H23) ・高齢・重度化への対応について、ハード・ソフトの検討を実施(H23～) ・セラピストと連携したサービスの提供(再掲P17) ・重度知的障害児者支援巡回研修事業の実施(再掲P8)	・高齢・重度化に対応した支援及び居住環境の改善(再掲P4) ・セラピストと連携したサービスの提供(再掲P17) ・重度知的障害児者支援巡回研修事業の実施(再掲P8)	定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量	-	-	-	-	-	-	-	立雲の郷 障害者スポーツ交流館 ふれあいスポーツ交流館
・健康づくり事業の実施	・介護予防・健康づくり事業の実施 ・立雲の郷で介護予防・メタボ予防事業効果検証(H24) ・病院とスポーツ施設が連携した運動プログラムの検討 実施 リハビリウォーキング、健康運動教室の開講、トレーニングでの個別指導等を実施 西瀬磨病院 医師による参加者へのメディカルチェック・健康相談を実施	・介護予防・健康づくり事業の実施 ・立雲の郷での運動プログラムの検討 実施 ・体育館と病院の連携強化	定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量 定性・定量	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	立雲の郷 障害者スポーツ交流館 ふれあいスポーツ交流館

事業 内 容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画	評価 指標		計画期間 実施時期	21～ 23年度	短期 24年度 25年度	中期 26年度 27年度	28年度 実施施設等
			実施	実施					
・認知症高齢者地域ケアの実践・研究 研究	・認知症高齢者地域ケアの実践・研究 西播磨病院に認知症医療センターと高齢者施設による認知症医療センターを開設(H21～) 認知症高齢者地域ケア実践研究会を開催(H21～) 「脳リハ練習帳」のご当地版の作成、商標登録申請(H23) 認知症の事例の集積及び分析を実施(H23～)	・認知症医療センターと高齢者施設による認知症地域ケア実践研究会の開催 認知症地域ケア実践事例検討会を実施 認知症ケア実践事例集、啓発パンフレットの作成	定性	継続					高齢者施設 西播磨病院
・認知症高齢者GH、ディサービス事業の充実 事業の充実	・認知症高齢者GH、ディサービス事業の充実 (認知症高齢者GH)()は定員) 村いちばんの元気者(18)、たけだ遊友館(18)、ひろいしの里(18)、五色 グループホーム(5)で運営 (併用型認知症対応型短期入所) たけだ遊友館で事業開始(H23～) (認知症対応型通所介護)()は定員) 朝陽ヶ丘荘(12)、たま荘(10)、あわじ荘(12)、立雲の郷(あすなろ)、ひろ いの里で実施 立雲の郷(たけだ遊友館)で事業開始(H24～)	・認知症地域ケア実践研究会の実践事例検討を反映した支援の実践 (認知症高齢者GH) 村いちばんの元気者、たけだ遊友館、ひろいしの里、五色グループホームで 実践 (併用型認知症対応型短期入所) ひろいしの里で事業開始(H24～) (認知症対応型通所介護) 朝陽ヶ丘荘、たま荘、ことぶき苑、あわじ荘、立雲の郷(あすなろ)、ひろ いの里で実施 立雲の郷(たけだ遊友館)で事業開始(H24～)	定性	継続					高齢者施設 西播磨病院
ウ 音楽療法・園芸療法等の実践									
事業 内 容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画	評価 指標		計画期間 実施時期	21～ 23年度	短期 24年度 25年度	中期 26年度 27年度	28年度 実施施設等
・音楽療法士等による療法の研 究・開発	・音楽療法士等による療法の研究・開発 (音楽療法) 神経難病患者におけるリズム形成障害に関する臨床研究を大学と共同 で実施(H21～) (園芸療法) 淡路景観園芸学校との共同研究を実施(H18～)	・音楽療法の実践、研究 ・パーキンソン病患者の高次脳機能面の評価に焦点をあてた評価システムの構築 ・園芸療法機能の充実 集団活動による「心理的高揚感及び社会性改善に関する研究」を実施	定性	継続					西播磨病院
・音楽療法士・園芸療法士等によ る地域の障害者・高齢者等への支 援	・音楽療法士・園芸療法士等による地域の障害者・高齢者等への支援 (音楽療法) 音楽療法実践講座を年1回、園芸療法実践講座を年2回実施 音楽療法士、園芸療法士を朝陽ヶ丘荘に派遣し、施設の支援プログラ ムとして定着 ・セラピストと連携したサービスの提供(再掲P17)	・音楽療法実践講座、園芸療法実践講座の開催 各講座年1回	定性・ 定量	継続					西播磨病院

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)						総合リハ(総合磨病院 西播磨病院 障害者施設 の家 高齢者施設 浜坂温泉 養生 庄	
		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度	中期 25年度	26年度	27年度	28年度
・セラピストと連携したサービスの提供	・セラピスト等専門人材派遣事業の実施 [派遣回数 年3回 連絡調整会議 年3回 総合リハ総合相談所内に相談窓口を設置、施設からの相談に随時対応 (H24~)]	・セラピスト等専門人材派遣事業を開始(H23年~、派遣回数53回(H23)) 障害者施設、高齢者施設、救護施設、浜坂温泉保養庄の利用者・家族等に対して機能維持・向上のための支援、施設職員に技術指導・研修会を実施	定性・ 定量	継続					
・通所介護・リハの検討・実施(再開)	P11と同様	—	—	—	実施				
・機能の強化	・保養(温泉)とリハビリ・健康づくり ・健康づくり機能について検討、実施 障害者重生センターとして、医療専門職(PT,OT,ST,MT,保健師等)による健康相談、機能訓練を実施(H23年度、年間13回実施、参加者278名) 福祉フェスティバルを開催し、医療・介護に係るセミナー・相談等を実施 長期滞在による湯治の提供(H21 962人 H22 944人 H23 762人)	・機能訓練事業のプログラムの充実 障害者重生センターとして、医療専門職(PT,OT,ST,MT,保健師等)による健康相談、機能訓練を毎月実施 セラピストと連携したサービスの提供(再掲P17) ・介護予防事業等の拡充 新温泉町から「高齢者生きがい活動支援所事業」を受託、実施(H24~) 週1回、年32回実施	定性・ 定量	継続					

(2) リハ医療・福祉に関する専門的情報の発信

ア 情報発信機能の強化・充実

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)						全施設 浜坂温泉保 養生 庄	
		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度	中期 25年度	26年度	27年度	28年度
・事業団広報戦略の強化・推進	・事業団広報戦略の策定 広報戦略を策定し、広報戦略に基づき情報発信(H21~)	・事業団広報戦略に基づく広報の推進 毎年度広報計画を策定し、対外的・対内的施策を実施 各施設に広報推進員を設置 パンフレット、広報誌(事業団、各施設)を発行 ホームページを活用した情報発信と、マスコミ等へ情報提供 広報(ホームページ作成含む)研修を実施 広報誌コンペの実施(H23)	定性・ 定量	継続					
		資料配布状況							
		H21 10件	H22 41件	H23 35件					

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21～ 23年度	24年度	短期 25年度	26年度	中期 27年度	28年度	実施施設等														
		年間利用者数 障害者スポーツの振興 障害者スポーツの振興を図る 年間利用者数 障害者スポーツ交流館 ふれあいスポーツ交流館 H21 76,907人 43,748人	H22 78,500人 43,835人																							
・障害者スポーツの振興 障害者スポーツの振興を図る 年間利用者数 障害者スポーツ交流館 ふれあいスポーツ交流館 H21 76,907人 43,748人	<p>・障害者スポーツの振興 年間利用者数 (障害者スポーツ交流館) 80,000人 3館連携による障害者スポーツの振興と、高齢者の健康増進 競技力の向上(国際大会、全国・県大会参加者への支援) 指導及び強化練習の開催 重度障害者への対応 新種目の開発</p> <p>・障害者スポーツの普及、啓発活動の実施 各種スポーツ教室、講習会、イベントを企画・実施 障害者スポーツ指導者、ボランティアの養成と活動推進</p> <p>・障害者スポーツネットワーク推進事業の実施 組織団体の育成、知的、精神、内部障害等への支援)への積極的取組み 県障害者スポーツ情報会議の役割 「障害者スポーツネットひょうご」、「ひょうご障害者スポーツ指導者協議会」、人材バンクの有効活用</p> <p>・障害者スポーツネットワーク推進事業の実施 「障害者スポーツネットひょうご」を主催、共催事業を計画的に実施 ユニバーサル健康フェスティバルひょうご障害者スポーツフォーラムを 開催 開催 ホームページ、新聞等による積極的な情報提供、スポーツガイドブック の発行等</p> <p>・体育館を活用した介護予防・健康づくり機能の強化(再掲P15)</p> <p>・「産・学・官」や「医・工」連携の共同研究による製品化、実用化の推進 「産・学・官」や「医・工」連携の共同研究の実現のための研究開発の実施 県受託研究、外部資金研究において、研究指導者、「産学」「医工」関係者のアドバイスを受けてから研究開発を推進 2件の特許申請(H23)を行う等、市販化に向けた取り組みを実施 (件数)</p> <table border="1"> <tr> <td>受託研究</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>外部資金による研究開発</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>製品化数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>共同研究</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>・研究開発や研究成果を取り入れた研修・相談機能の充実 ・研究開発や研究成果を取り入れた研修(「easy to read」等)、研究部門の成果を活用 した研修を実施(認知症実践研修等) 福祉用具展示ホール展示品の更新 H21 12件 → H22 5件 → H23 8件 年3回以上 福祉用具の更新・年間15～20件 福祉用具専門相談員設置事業(H24～)</p> <p>「ウエルフェアテクノハウス神戸」の改修を、研究部門の提案を取り入れて実施(H23)</p> <p>・発達障害・被虐待児童などに関する支援ネットワークの拡充 対応困難児童に対する指導方法を示すDVD、解説事例集を作成(H22) 清水が丘学園改築整備事業(県事業)への協力(H21～23)</p> <p>・民間福祉人材への研究成果発表会等のオーフン化(再掲) P13と同様</p> <p>・リハ医療・福祉に関する施設公開セミナーの拡充(再掲) P14と同様</p>	受託研究	H21	H22	H23	外部資金による研究開発	16	16	16	製品化数	10	9	5	共同研究	1	0	0		6	4	4	<p>・障害者スポーツの振興 年間利用者数 (障害者スポーツ交流館) 80,000人 3館連携による障害者スポーツの振興と、高齢者の健康増進 競技力の向上(国際大会、全国・県大会参加者への支援) 指導及び強化練習の開催 重度障害者への対応 新種目の開発</p> <p>・障害者スポーツの普及、啓発活動の実施 各種スポーツ教室、講習会、イベントを企画・実施 障害者スポーツ指導者、ボランティアの養成と活動推進</p> <p>・障害者スポーツネットワーク推進事業の実施 組織団体の育成、知的、精神、内部障害等への支援)への積極的取組み 県障害者スポーツ情報会議の役割 「障害者スポーツネットひょうご」、「ひょうご障害者スポーツ指導者協議会」、人材バンクの有効活用</p> <p>・体育館を活用した介護予防・健康づくり機能の強化(再掲P15)</p> <p>・「外部資金の獲得…研究費総額の35% ・共同研究による製品化、共同研究件数 (県行革プラン:製品化等 5件以上、強行研究35件(年間3件以上)H20～30) ・大学、他府県や民間企業等と研究テーマに応じた連携の推進</p> <p>・外部資金の獲得…研究費総額の35% ・共同研究による製品化、共同研究件数 (県行革プラン:製品化等 5件以上、強行研究35件(年間3件以上)H20～30) ・大学、他府県や民間企業等と研究テーマに応じた連携の推進</p> <p>・企業等との連携による福祉用具展示機能等の強化 3展示ホール(総合リハ、西播磨リハ、但馬長寿の郷)連携協議会の開催 年3回以上 福祉用具の更新・年間15～20件 福祉用具専門相談員設置事業(H24～)</p> <p>・研究部門と研修部門との連携強化 ・研究部門と研修部門との連携強化</p> <p>・企業等との連携による福祉用具展示機能等の強化 3展示ホール(総合リハ、西播磨リハ、但馬長寿の郷)連携協議会の開催 年3回以上 福祉用具の更新・年間15～20件 福祉用具専門相談員設置事業(H24～)</p> <p>・発達障害・被虐待児童などに関する支援ネットワークの拡充 対応困難児童に対する指導方法を示すDVD、解説事例集を作成(H22) 清水が丘学園改築整備事業(県事業)への協力(H21～23)</p> <p>・民間福祉人材への研究成果発表会等のオーフン化(再掲) P13と同様</p> <p>・リハ医療・福祉に関する施設公開セミナーの拡充(再掲) P14と同様</p>	<p>評価指標</p> <p>定性・ 定量</p> <p>実施</p>	<p>計画期間 実施時期</p> <p>21～ 23年度</p> <p>24年度</p> <p>短期 25年度</p> <p>26年度</p> <p>中期 27年度</p> <p>28年度</p>	<p>障害者スポーツ交流館 ふれあいスポーツ交流館 立雲の郷</p>	<p>障害者スポーツ交流館 ふれあいスポーツ交流館 立雲の郷</p>
受託研究	H21	H22	H23																							
外部資金による研究開発	16	16	16																							
製品化数	10	9	5																							
共同研究	1	0	0																							
	6	4	4																							

(3) 新たな課題への挑戦

事業内容		第1期実施計画の実績		第2期実施計画の評価指標(目標値)		第2期実施計画の評価指標(目標値)	
・治療プログラムの研究・実践及び臨床結果の発信による利用促進	・子どもたちの睡眠障害の治療・研究 外来(H20～)、入院(H21～)受入を開始 高照度光療法及び低照度光療法を実施 ホーダブル光治療器の開発、効果検証 の導入検討 睡眠障害の予防	・子どもの睡眠障害の治療・研究 子どもの睡眠実態に関する調査・研究 高照度光治療、低照度サウナ療法を実施 アニマルセラピー(馬介在療法等)、自律神経訓練法、湯たんぽ療法等 の導入検討 睡眠障害の予防	延患者数 H21 1,948人 入院 4,447人	H22 H23 4,880人 5,064人	評価指標 実施時期 21～23年度	実施 24年度	短期 25年度
・子どもたちの睡眠障害の普及啓発	・「発達神経科学研究会設立記念シンポジウム」を開催(H23) ホームページによる積極的な情報発信	・子どもたちの睡眠障害の普及啓発 シンポジウムの開催・年1回 ホームページ、パンフレット等による広報活動	定性 継続	評価指標 実施 25年度	実施 26年度	中期 27年度	実施設等 中央病院
在宅精神障害者への地域生活支援機能の拡充		第1期実施計画の実績		第2期実施計画の評価指標(目標値)		第2期実施計画の評価指標(目標値)	
・精神障害者の支援技術の習得・実践	・支援技術の習得・実践 精神障害者支援技術習得マニュアルを作成(H23) 精神保健福祉士の資格取得を推進 資格保有者数(H21)15名 → H22 19名 → H23 22名 ・在宅障害者への地域生活支援機能(事業団施設の役どころ)の調査を実施	・精神障害者の支援技術習得マニュアルに基づく、研修ヒストリカル検討の実施 精神保健福祉士の計画的養成 「専門」認定看護師、介護福祉士等の計画的養成、資格取得の推進」 (再掲P7)	定性 定量 継続	評価指標 実施時期 21～23年度	実施 24年度	短期 25年度	中期 26年度
その他新たな課題への挑戦		第1期実施計画の実績		第2期実施計画の評価指標(目標値)		第2期実施計画の評価指標(目標値)	
・認知症疾患医療センターの運営	・認知症疾患医療センターの設置・運営、事業の充実 外来リハビリ施設相談の実施 かかりつけ医等への研修会の開催…年4回以上 認知症疾患医療連携協議会の開催…年1回	・認知症療養の充実 外来リハビリの充実、精神科訪問看護指導の実施(H24～) 事業門診相談の実施 かかりつけ医等への研修会の開催…年4回以上 認知症疾患医療連携協議会の開催…年1回	定性・ 定量 継続	評価指標 実施 24年度	実施 25年度	短期 26年度	中期 27年度
・こども発達支援センターの運営	・発達障害児支援センターのあり方検討会の実施、整備への反映 こども発達支援センターの整備(県事業)への協力(H22～23)	・こども発達支援センターの円滑な運営(H24年7月開設) 出張拳銃・診療・療育相談 派遣発達支援・療育機関づくりへの支援 研修、情報提供、市町助言等	定性 継続	実施 25年度	実施 26年度	中期 27年度	実施設等 西脇病院
・高次脳機能障害の治療・研究と支援体制の確立(再掲)	P15と同様	・ロボットリハビリ関連機器を活用したリハビリテーションの実施 専任の研究員を配置	－	－	－	－	こども発達支援センター
・ロボットリハビリテーションセンターの運営	ロボットリハビリテーションセンター開設(H23)	・最先端テクノロジーを駆使した(義足、義手、装具)研究開発 新たなハイオーラートのシステム構築(ハイオーラートの臨床評価 上腕切断者の新たな筋電気手システムの開発 装飾性の高い電動ハンドの開発 ハイオーディオミュージックのリハビリーション応用 ・国際福祉機器展への出展(H24～) 「ロボットリハビリテーションシンポジウム」の開催(H24)	定性 短期 中期	実施 25年度	実施 26年度	中期 27年度	実施 中央病院 福祉のまち づくり研究所
		・開発品の販売システムの検討 ・ロボットリハビリテーションネットワーク構築(全国電動義手研究会)の設置検討					

4 人材育成と働きがいのある職場づくり

(1) 人材の確保・育成

①人材育成基本方針に基づく人材育成の実践

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)						実施施設等
		評価指標	計画期間 実施時期	21～ 23年度	短期 24年度	中期 25～26年度	27～28年度	
・人材育成基本方針の見直し、改定 <改定の主な内容> 非正規職員に対する研修の充実 OJT推進体制の充実 マネジメントや危機管理など自律型組織を担う人材の育成	・人材育成基本方針を踏まえた職員研修の実施 ・人材育成基本方針の終点検、改訂(H26)	定性	継続					事務局
・組織性・専門性研修の効果的実践	・組織性・専門性研修の効果的実践 (組織性研修) 人材育成基本方針を踏まえて、継続的に実施 研修項目について、人材育成基本方針及び事業団の現状を踏まえて 選定 非正規職員の研修参加の機会の拡大(H23～) ・OJT推進体制の構築 職場内研修推進要綱を設置(H22) OJTリーダーの設置などOJT推進体制を構築(H22～) OJTをテーマに集合研修を実施 OJTの技術向上のため、OJTリーダー、エリダーを対象とした研修の実施 「接遇マナーの向上」、「ガバナンス推進計画、コンプライアンス指針の浸透」等を重点的に実施 (専門性研修) 経験年数に応じて、業務に必要な研修参加機会を拡充	実施	実施	実施	実施	実施	事務局	

②法人経営、マネジメントを担う人材育成		第2期実施計画の評価指標(目標値)					
事業内容	第1期実施計画の実績	評価指標	計画期間	中期	短期	実施施設等	
実施年度	実施年度	実施時期	24年度	25年度	26年度	27年度	
・自律型組織を担う職員養成のための研修の検討、導入(再開)	・人材育成基本方針の見直し、改定(再掲P20)	—	—	—	—	—	
・次世代の管理・監督職の計画的育成(再掲)	・人材育成基本方針の見直し、改定(再掲P20)	—	—	—	—	—	

③資格職種等の計画的養成

事業内容		第1期実施計画の実績											
・事業団アカデミーなど自己啓発 援助制度の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団アカデミーの拡充 危機管理コースを創設(H22) 若手マネジメントコースを創設(H23) 其他施設等の調査研究活動を行うなど内容を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団アカデミーの実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設マネジメントコース</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>危機管理コース</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>若手マネジメントコース</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table>	コース	受講者数	施設マネジメントコース	15人	危機管理コース	15人	若手マネジメントコース	15人	計	45人	<p>評価指標</p>
コース	受講者数												
施設マネジメントコース	15人												
危機管理コース	15人												
若手マネジメントコース	15人												
計	45人												
・機会主義等の実施													

イ自律型組織を担う人材の確保・定着

①医療・福祉人材の確保対策

事業内容		第1期実施計画の実績	
・優秀な経験者の採用	<ul style="list-style-type: none"> ・人事・給与制度見直し検討委員会で、前座換算の見直しを検討 ・採用条件の検討 ・優秀な民間の経験者の採用 	<ul style="list-style-type: none"> ・採用条件の検討 ・優秀な民間の経験者の採用 	<p>評価指標</p>
・OB職員の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・OB職員の活用 退職者再雇用取扱要綱を改正(H22) 施設長または施設の長を補佐する業務におけるOB職員の活用を付加 ・OB職員の知識、技能及び経験の活用を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・OB職員の知識、技能及び経験の活用を継続 	<p>評価指標</p>

②帰属意識の醸成

事業内容		第1期実施計画の実績	
・「チーム事業団アイデンティティープログラム」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「チーム事業団アイデンティティープログラム」の策定 (H21) 職員意識の醸成に向けた研修の実施(H22～) 全職員を対象とした意識調査の実施(H22～) ・職員意識調査の実施 ・事業団設立50周年(平成26年)に向けた取り組み 〔 批観的に認識するツールの検討・作成 記念誌編集 OB会の発足 〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員意識の醸成に向けた研修の実施 ・職員意識調査の実施 ・事業団設立50周年(平成26年)に向けた取り組み 〔 批観的に認識するツールの検討・作成 記念誌編集 OB会の発足 〕 	<p>評価指標</p>

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21～ 23年度	短期 24年度 25年度 26年度	中期 27年度 28年度	実施施設等
		・前期・後期研修医の確保 県立病院への働きかけの実施 ホームページ・広報誌等の積極的な活用 専攻医(後期研修医)の研修プログラム策定 前期及び後期研修医確保に向けたレジナビフェアの参加	・医師確保対策プロジェクト会議において具体策の継続検討(H24年～) [医療秘書の導入(H24～) 内科医確保に向けた対策の検討等]						
・医師の待遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の待遇改善の検討、実施 医師確保対策プロジェクト会議で検討、実施可能な項目から順次実施 (多様な医師確保対策) 医療向け広報誌への広告掲載、医師修学資金貸与制度の創設等 (魅力度ある病院づくり) 研修研究費の増額、当直医の外部依頼等 (待遇改善) 医師の短時間正規職員制度の創設、少児オンコール手当の創設、宿日直手当の増額、勤務医器賃責任保険への加入、病後児保育体制の整備、特殊診療手当の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師確保対策プロジェクト会議において具体策の継続検討(H24年～) [医療秘書の導入(H24～) 内科医確保に向けた対策の検討等] 	定性	継続					事務局 中央病院 西播磨病院 こども発達 支援センター
・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・研究研修費の重点的配分 予算額 中央病院:42百万 西播磨病院:17百万 学会参加費の負担 学会年会費の助成 学会専門医・認定医・指導医等の資格取得、更新に対する費用助成 研究プロジェクト経費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ、海外研修等に基づく効果的な配分 	定性・ 定量	継続					事務局 中央病院 西播磨病院

(2) 人事・組織マネジメントの強化
ア ガバナンスの推進
①自律型組織の構築

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21～ 23年度	短期 24年度 25年度 26年度	中期 27年度 28年度	実施施設等
		・ガバナンス推進計画・コンプライアンス指針の取組み推進 各種会議・研修で周知徹底(H24)	「組織性・研修の効果的実践」(再掲P20) 自己点検・職場における点検・評価の実施 コンプライアンス推進責任者による効果測定(3年に1回) 各取組みの点検・評価(H25)、新計画の策定(H26)						
・施設長への権限委譲の拡大検討	自律型組織のあり方検討 「ガバナンス推進計画」の策定 (H23) 「コンプライアンス指針」の策定 (H23)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長への権限委譲を継続検討 	定性	継続					事務局
・リスクマネジメント体制の構築(再掲)	P8ヒ同様	—	—	—					—

②コンプライアンス経営の実践

事業内容		第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)
・内部監査の強化、外部評価の活用	・内部監査の強化、外部評価の活用 (内部監査) 例月監査による例月検査を拡充(決算期以外の施設経理の監査実施) 事務局による例月検査を拡充(各施設複数回の実施) (外部監査) 包括外部監査を受審(H22) ごとの損益管理	<ul style="list-style-type: none"> ・例月監査の実施 ・例月検査の実施 ・公認会計士による監査の実施、助言・指導の実施 	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>実施 実施 実施 実施 実施 実施</p> <p>定性・定量</p> <p>継続</p>
・情報公開・情報提供による事業団経営の情報提供	・ホームページ及び機関紙による事業団経営の情報提供 各種情報発信ツールを駆使して、決算状況等の情報を発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・広報誌等の積極的な活用 ・情報公開規則の見直し検討 経営の透明性、公正性をPRしていくため、情報公開規則に積極的な情報公開の規定を追加(H24) 	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>実施 実施 実施 実施 実施 実施</p> <p>定性</p> <p>継続</p>

③事業評価の実施

事業内容		第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)																								
・経営計画等の評価、進行管理	・経営計画の評価・進行管理 事業評価・検証を実施(毎年)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">背面見直しの内訳</th> <th>第2期</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>実績(目標を達成したもの)</th> <th>1</th> </tr> <tr> <th>②</th> <th>実績(目標を達成していないもの)</th> <th>93</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内 部 監 査 事 務 局</td> <td>内部評価結果(一部見直し)</td> <td>(93)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>割り込み方を変更するもの</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>引き継ぎが必要だったが目標年数を変更したもの</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>新規追加項目</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>合</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	背面見直しの内訳		第2期	①	実績(目標を達成したもの)	1	②	実績(目標を達成していないもの)	93	内 部 監 査 事 務 局	内部評価結果(一部見直し)	(93)	③	割り込み方を変更するもの	6	④	引き継ぎが必要だったが目標年数を変更したもの	4	⑤	新規追加項目	4	合	合	102	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>実施 実施 実施 実施 実施 実施</p> <p>定性・定量</p> <p>継続</p>
背面見直しの内訳		第2期																									
①	実績(目標を達成したもの)	1																									
②	実績(目標を達成していないもの)	93																									
内 部 監 査 事 務 局	内部評価結果(一部見直し)	(93)																									
③	割り込み方を変更するもの	6																									
④	引き継ぎが必要だったが目標年数を変更したもの	4																									
⑤	新規追加項目	4																									
合	合	102																									
・計画の見直し、実施計画の策定 実施計画の見直し検討(H23)	・計画の見直し、実施計画の策定(H24)、評価・見直し(H26) 第3期実施計画の策定(H27)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">背面見直しの内訳</th> <th>第2期</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>実績(目標を達成したもの)</th> <th>1</th> </tr> <tr> <th>②</th> <th>実績(目標を達成していないもの)</th> <th>97</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内 部 監 査 事 務 局</td> <td>内部評価結果(一部見直し)</td> <td>(97)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>割り込み方を変更するもの</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>引き継ぎが必要だったが目標年数を変更したもの</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>新規追加項目</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>合</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table>	背面見直しの内訳		第2期	①	実績(目標を達成したもの)	1	②	実績(目標を達成していないもの)	97	内 部 監 査 事 務 局	内部評価結果(一部見直し)	(97)	③	割り込み方を変更するもの	2	④	引き継ぎが必要だったが目標年数を変更したもの	4	⑤	新規追加項目	4	合	合	104	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>実施 実施 実施 実施 実施 実施</p> <p>定性</p> <p>継続</p>
背面見直しの内訳		第2期																									
①	実績(目標を達成したもの)	1																									
②	実績(目標を達成していないもの)	97																									
内 部 監 査 事 務 局	内部評価結果(一部見直し)	(97)																									
③	割り込み方を変更するもの	2																									
④	引き継ぎが必要だったが目標年数を変更したもの	4																									
⑤	新規追加項目	4																									
合	合	104																									
・事業評価による事務改善の推進 (再掲)	—	—	—																								

イ 員員配置と給与制度の見直し

事業内容		第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)
・正規職員(I・II種)と非正規職員の適正配置の検討 員の適正配置の検討・実施	・正規職員(I・II種)と非正規職員の適正配置の検討 現状調査の実施	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>検討 順次実施 順次実施 順次実施 順次実施 順次実施</p> <p>定性</p> <p>継続</p>	
・人事交流等による組織の活性化	毎年度、施設長のヒアリングを踏まえ、適材適所を実施 老人、障害、児童等各施設の積極的人事交流	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>実施 実施 実施 実施 実施 実施</p> <p>定性</p> <p>継続</p>	
・若手職員の登用	昇格基準の弾力化を実施 事業団アカデミーに若手職員マネジメントコースを設置(H23) 適材適所の計画的的人事配置	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>検討 順次実施 順次実施 順次実施 順次実施 順次実施</p> <p>定性</p> <p>継続</p>	
・土気高揚につながる人事・給与制度の検討・整備 制度の検討・整備	・土気高揚につながる人事・給与制度の検討・整備 支援員等(6級以下)に管格手当・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の資格を有する職員)を創設 特別養護老人ホームに勤務する看護師にオンコール手当を創設 介護職員処遇改善加算の実施 非正規職員の処遇改善(嘱託員:育児休業・介護休暇の新設、日々雇用職員:特別休暇の付与) 人事考課制度の見直し、実施 昇格基準の見直し	<p>評価指標</p> <p>計画期間 21～23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度</p> <p>実施時期</p> <p>検討 順次実施 順次実施 順次実施 順次実施 順次実施</p> <p>定性</p> <p>継続</p>	

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度	中期 25年度	中期 26年度	中期 27年度	中期 28年度	実施施設等
		24年度	25年度									
・退職給与引当金及び建設積立金等の確保	・退職給与引当金及び建設積立金等の確保 包括外部監査(H22)や経営戦略会議の指摘を踏まえ、計画的な退職給与引当金、建設積立金を確保	・計画的な退職給与引当金及び建設積立金等の確保 退職引当金の計上 職員全員が自己都合により退職した場合に支給すべき額 建設積立金の確保 耐用年数39年後に同程度の再建するための自己負担額 建設積立金 修繕費積立金 備品等購入費積立基金 建設積立金の1/2程度 人件費積立金 報酬改定に伴う収入減の際の昇給財源を確保 施設整備全体計画の策定(再掲H24)	定性・定量	定性・定量	実施							事務局
・既存事業のスクラップアンドビル	・既存事業のスクラップアンドビル 事業の有効性・効率性の観点から毎年度検証を実施	・事業の有効性・効率性の観点から毎年度検証を実施	定性・定量	定性・定量	実施							全施設
・事業団経費削減大作戦の実施	・管理費の計画的削減の要施(H22~30年度 目標20%削減) 【各施設で使用頻度の高い照明器具のLED化 消耗品の削減 スマート監視装置の設置】	・水道光熱費その他の削減、委託・保守業務の見直し ・管理費の計画的削減の継続(H24~30 事務費等13%の削減)	定性・定量	定性・定量	実施							全施設
・施設の老朽化等に伴う建て替え、修繕計画の策定	・障害関係施設の建替え・大規模改修計画の策定 【30年度までの建て替え、大規模改修計画を策定し、計画的に実施 ・申請に基づいた申請、整備の実施 万寿の家の改修、能開棟耐震化工事(県事業)(H21~22) 五色精光園成人寮の整備(H22~23) 清水が丘学園の改築整備(県事業)へ協力(H23) 赤穂精華園児童寮の国庫補助申請、内示(H23)】	・施設整備全体計画の策定 ・施設の老朽化等に伴う改築、改修 赤穂精華園児童寮の改築(H24) 総合リハ管理棟(県事業)の耐震改修(H24~) 小野起生園・小野福祉工場の整備検討(H24~) ・整備計画の検討 赤穂精華園授産寮(H25~) 出石精和園成人寮(H27~) 自立生活訓練センター、赤穂成人、のぞみの家大規模改修(H24~) 中央病院の修繕計画の策定(H24~)	定性・定量	定性・定量	実施							事務局 総合リハ 障害者施設
・事業団広報戦略の策定・推進 (再掲)	P17と同様	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イ 自立した経営												
事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度	中期 25年度	中期 26年度	中期 27年度	中期 28年度	実施施設等
		24年度	25年度									
・運転資金の収支の安定化	・施設種別毎の積立金の確保	・短期流動比率の向上 H24~28の5年間で200%以上の達成を目指す(短期流動比率の目標300%)	定性・定量	定性・定量	実施							事務局
・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施 と進行管理の実施	・経営戦略会議の実施 外部の専門家を交えた、経営収支会議の設置(H21)、経営戦略会議の設置(H22)、病院戦略会議の設置(H23)	・県借入金の段階的削減 県借入金の段階的削減(H21 19億円 → H23 14.5億円)	定性・定量	定性・定量	実施							事務局 全施設

<p>・経営目標の設定と評価の明確化</p> <p>・施設種別単位での、運営独立性の確保</p> <p>・経営目標の見直し、随時見直し</p> <p>年度毎に事業内容、稼働率目標等を見直し、収支目標、積立金額を設定</p> <p>「経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施」(再掲P24)</p>	<p>同種施設区分における収支(黒字:○、赤字:×)</p> <table border="1"> <tr> <td>障害関係施設群</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>高齢関係施設群</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>病院</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> </table> <p>・経営評価の明確化</p> <p>「経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施」(再掲P24)</p>	障害関係施設群	○	○	○	高齢関係施設群	○	○	○	病院	○	○	○	<p>・施設単位毎の事業活動収支比率の経営目標を設定</p> <p>・経営目標を達成した施設に対するインセンティブを検討</p> <p>〔希望整備事業枠の拡大 研究・研修費の拡大 など〕</p>	<p>定性・定量</p> <p>・経営戦略会議等における経営効率化の検討・実施</p> <p>・意見聴取を踏まえた経営効率化の検討・実施</p> <p>・経営戦略会議等における経営効率化の検討・実施</p> <p>・医療、福祉制度の的確な対応による収入の確保</p> <p>・職場環境の充実などを展開</p>						
障害関係施設群	○	○	○																		
高齢関係施設群	○	○	○																		
病院	○	○	○																		
<p>（2）財務管理等の強化</p>	<p>事 業 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉など各施設種別単位での経営の独立性の確保(再掲) ・事業毎の経営効率(費用対効果)の評価 	<p>第1期実施計画の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営目標の設定と評価の明確化」(再掲P25) ・経営効率を評価するシステムの導入 ・経営指標を測定し、事業団経営の評価 ・病院毎の評価指標による経営の評価 	<p>第2期実施計画の評価指標(目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価指標に基づく評価分析の実施 ・分析結果に基づく課題解決を実施 	<p>評価指標</p> <p>計画期間 実施時期</p> <p>2.1～ 2.3年度</p>	<p>評価指標</p> <p>計画期間 実施時期</p> <p>2.4年度 2.5年度</p>	<p>評価指標</p> <p>計画期間 実施時期</p> <p>2.6年度 2.7年度</p>	<p>評価指標</p> <p>計画期間 実施時期</p> <p>2.8年度</p>	<p>評価指標</p> <p>計画期間 実施時期</p> <p>2.9年度</p>	<p>評価指標</p> <p>計画期間 実施時期</p> <p>2.10年度</p>												
<p>（3）人材育成</p>	<p>事 業 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の適正化・効率化 ・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲) ・経営戦略会議等による経営の明確化 	<p>第1期実施計画の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務管理システムの効率化による経営の効率化 ・新会計基準対応について、今後の方針を検討(H23) ・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23) ・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24) 	<p>第2期実施計画の評価指標(目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新会計システムの構築、テスランの実施(H24) ・経理担当職員への研修の強化(H24～) ・会計規則等の改正 ・新会計基準導入後の適正な業務執行(H25～) ・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23) ・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24) 	<p>定性・定量</p> <p>・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24)</p>	<p>定性・定量</p> <p>・財務管理システムの構築、テスランの実施(H24)</p> <p>・経理担当職員への研修の強化(H24～)</p> <p>・会計規則等の改正</p> <p>・新会計基準導入後の適正な業務執行(H25～)</p> <p>・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23)</p> <p>・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24)</p>	<p>定性・定量</p> <p>・財務管理システムの構築、テスランの実施(H24)</p> <p>・経理担当職員への研修の強化(H24～)</p> <p>・会計規則等の改正</p> <p>・新会計基準導入後の適正な業務執行(H25～)</p> <p>・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23)</p> <p>・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24)</p>	<p>定性・定量</p> <p>・財務管理システムの構築、テスランの実施(H24)</p> <p>・経理担当職員への研修の強化(H24～)</p> <p>・会計規則等の改正</p> <p>・新会計基準導入後の適正な業務執行(H25～)</p> <p>・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23)</p> <p>・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24)</p>	<p>定性・定量</p> <p>・財務管理システムの構築、テスランの実施(H24)</p> <p>・経理担当職員への研修の強化(H24～)</p> <p>・会計規則等の改正</p> <p>・新会計基準導入後の適正な業務執行(H25～)</p> <p>・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23)</p> <p>・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24)</p>	<p>定性・定量</p> <p>・財務管理システムの構築、テスランの実施(H24)</p> <p>・経理担当職員への研修の強化(H24～)</p> <p>・会計規則等の改正</p> <p>・新会計基準導入後の適正な業務執行(H25～)</p> <p>・内部監査の強化、外部評価の活用(再掲P23)</p> <p>・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲P24)</p>												

(3) 主な施設の経営目標
ア 自主経営(事業団立)施設

事業 内 容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)				評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 実施	中期 実施	27年度 28年度	
		H21	H22	H23	H24							
・入所率98%以上の維持及び日中活動の利用促進	・入所率98%以上の維持 赤穂優産育のあり方検討の実施 自立生活訓練センターへ所率向上に向けた取組みを実施 小野起生園の入所定員の変更(40名→36名 H24)											
活動の利用促進	・日中活動の利用促進を図り、利用者数の対前年増											
・既存事業については、事業の有効性・効率性の観点から毎年度検証を実施 必要に応じてより適切な事業形態への変更を検討、実施	・制度改正に応じた収支計画の見直し(H25、随時)											
・制度改正に応じた収支計画の見直し												
・経営改善を継続的に実施 (再掲)	・医療・福祉など各施設種別単位での経営の独立性の確保(再掲) ・経営戦略会議等による経営評価と進行管理の実施(再掲) ・経営目標の設定と評価の明確化(再掲)											
・退職給与引当金及び建設積立 金等の確保(再掲)	P24と同様											
・施設の老朽化等に伴う建て替え、修繕計画の策定・実施(再掲)	P24と同様											
②高齢者施設	事業 内 容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)				評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 実施	中期 実施	27年度 28年度
・待機利用者の利用促進等による 稼働率98%以上の維持	・特養の稼働率98%以上の維持											
稼働率98%以上の維持		H21	H22	H23								
・特養の稼働率98%以上の維持												
万寿の家	87.3%	79.4%	97.6%									
朝陽ヶ丘庄	98.3%	98.1%	98.6%									
たじま荘	97.9%	98.3%	98.6%									
ことぶき苑	98.9%	100.1%	97.7%									
あわじ荘	97.7%	98.1%	98.5%									
丹寿荘	97.6%	97.4%	97.1%									
五色・サビア	95.5%	97.2%	98.8%									
既存事業については、事業の有効性・効率性の観点から毎年度検証を実施 必要に応じてより適切な事業形態への変更を検討、実施	・制度改正に応じた収支計画の見直し(H24、27、随時)											
・制度改正に応じた収支計画の見直し												
・退職給与引当金及び建設積立 金等の確保(再掲)	P24と同様											

(3)浜坂温泉保養庄

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)									
		評価指標		計画期間		21~23年度		短期		中期	
実施時期	実施	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	実施	実施	実施	実施	実施
・経営計画に基づく障害者・高齢者等の利用者の確保	・障害者・高齢者等の利用者の増加										
障害者・高齢者等の利用者数(人)		H21	H22	H23							
障害者	1,714	1,593	1,600								
高齢者	7,913	7,217	7,021								
その他	2,277	2,395	1,707								
計	11,904	11,205	10,328								
経営計画に基づき、利用者確保を推進	経営計画に基づき、利用者確保を推進										
経営会議開催(毎月)、検討委員会の設置(H21~)して計画を推進	経営会議開催(毎月)、検討委員会の設置(H21~)して計画を推進										
営業マネージャー(H21~)、サポート(H22~)、ファンクラブ会員(H23~)、各施設にPR推進員(H23~)を設置して、広報、PR活動を実施	営業マネージャー(H21~)、サポート(H22~)、ファンクラブ会員(H23~)を設置して、広報、PR活動を実施										
障害者のリハビリ、健康づくりサービスを充実	障害者のリハビリ、健康づくりサービスを充実										
・収支の均衡化	・収支改善の検討、経営計画の策定										
経営計画を策定(H22年度)、H23年度一部見直し)、経営改善目標数値を設定	経営計画による経営診断を実施(H21)										
	経営改善目標数値										
		H24	H25	H26	H27						
年間利用者数(人)	H21	H22	H23								
年間利用者数(人)	11,904人	11,205人	10,328人								
宿泊定員利用率	40.2%	38.0%	35.8%								
収入(千円)	140,511	132,644	121,300								
支出(千円)	145,652	150,791	147,001								
收支差(千円)	△ 5,141	△ 19,147	△ 25,701								
	・繕修・備品更新等計画を策定										

① 病院

事業内容	第1期
・病院経営計画に基づく病院運営の実践	・病院経営計画の策定 病院経営計画を策定(H21.1)

卷之三

第1期実施計画の実績

第2期実施計画の評価指標(目標値)

・病院経営計画に基づく病院運営の実際	・病院経営計画の策定 病院経営計画を策定([H2])
--------------------	-------------------------------

事業内容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)									
		評価指標		計画期間 実施時期		21～ 23年度		短期 24年度		中期 25～28年度	
・病院経営計画に基づく病院運営の実績	・病院経営計画の策定 病院経営計画を策定(H21)	・自立した経営の確保 回復期リハビリーション病棟入院料1施設基準取得の取組み 「エネリック」薬品採用の拡大 「懸力ある」病院づくりによる医師・後期臨床研修医の確保・育成」 (再掲P22)	定性	継続							実施
・病院経営計画に基づく利用者の確保	・病床利用率93%以上の維持 医師確保について検討し、実施可能な内容を実施し、病床利用率の維持・向上の取り組みを実施	・経営計画の検証、新計画の策定(H25) 「ノハ医療の3次機能と高度専門医療の充実」(再掲P7)	定性	継続							実施
・病院経営計画に基づく利用者の確保	・病床利用率93%以上の維持 医師確保について検討し、実施可能な内容を実施し、病床利用率の維持・向上の取り組みを実施	・利用者の確保 医師をはじめとする医療スタッフの確保・定着 病院局との連携強化 地域連携リティカルバスの充実・拡大(再掲P13) 認知症医療センターの充実(再掲P19) ドボットリハビリテーションセンターの運営(再掲P19)	定性・定量	継続							実施
(単位: %人／日／百万円)											
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		本院	外来	外来	本院	本院	外来	本院	外来	本院	
中央病院	本院	85.8%	85.7%	84.1%	83.6%	91.3%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	
	外来	248.1人	236.9人	207.4人	266.9人	283.4人	296.1人	296.1人	296.1人	296.1人	
	小児	55.0%	66.2%	66.8%	66.2%	69.1%	69.1%	69.1%	69.1%	69.1%	
	児童	35.4人	43.6人	43.3人	43.2人	44.1人	44.1人	44.1人	44.1人	44.1人	
	収入	3,848	3,920	3,956	4,226	4,322	4,493	4,493	4,493	4,493	
		支出	4,269	4,285	4,305	4,532	4,620	4,689	4,689	4,689	
		差引	△421	△365	△350	△306	△306	△195	△195	△195	
		県負担ルール	403	383	416	350	405	414	414	414	
		県負担後返支	△18	28	66	44	99	219	219	219	
		入院	87.1%	90.1%	92.2%	92.6%	92.3%	93.0%	93.0%	93.0%	
		外来	50.1人	44.3人	43.3人	48.2人	49.2人	50人	50人	50人	
		取入	1,149	1,251	1,226	1,299	1,301	1,306	1,306	1,306	
		支出	1,296	1,377	1,458	1,441	1,458	1,458	1,458	1,458	
		差引	△147	△126	△160	△142	△157	△149	△149	△149	
		県負担ルール	158	182	231	174	184	184	184	184	
		県負担後返支	11	56	71	32	27	35	35	35	

◎ 二十世紀文化研究

施設立景

事業内容	第1期実施計画の実績
・県との協働による具施策の先導的役割の実践	<p>・県との協働による具施策の先導的役割の実践</p> <p>指定管理、個別委託事業を着実に実施し、協働して具施策を積極的に推進</p> <p>県等の指定管理による政策施設(H23年度 8施設) ①病院 中央病院、西播磨病院</p> <p>②その他の県立施設等 清水が丘学園、スポーツ交流館・ふれあいスポーツ交流館)</p>

事 業 内 容	第1期実施計画の実績	第2期実施計画の評価指標(目標値)						実施施設等
		評価指標	計画期間 実施時期	21~ 23年度	短期 24年度	中期 25~26年度	27~28年度	
・県との協働による県施策の先導的役割の実践	<p>・県との協働による県施策の先導的役割の実践</p> <p>県等の指定管理、個別委託事業を着実に実施し、協働して県施策を積極的に推進</p> <p>県等の指定管理による政策施設(H23年度 8施設)</p> <p>①中央病院、西播磨病院</p> <p>②その他の県立施設等</p> <p>③福祉のまちづくり研究所、職業能力開発施設、おおぞらのいえ、清水が丘学園、スポーツ施設(障害者スポーツ交流館・ふれあいスポーツ交流館)</p>	・県との協働による県施策の先導的役割の実践(H24年度 9施設)	県等の指定管理による政策施設を新たに指定管理を受けて運営(H24~)	定性	継続			中央病院、西播磨病院、福祉のまちづくり研究所、職業能力開発施設、おおぞらのいえ、清水が丘学園、スポーツ施設(障害者スポーツ交流館・ふれあいスポーツ交流館)、研究開発センター、交流センター、

※実施施設等 傷害児施設:出石精和園児童寮、五色精光園児童寮、赤穂精華園児童寮、おおぞらのいえ

主な施設の重点的な取り組み(新経営10か年計画基本計画から抜粋)

1 自主経営施設	(1) 様々な障害者施設	ア 福祉のまちづくり研究所 (2) その他の県立施設等 ア 福祉のまちづくり研究所	①障害者の就労や地域生活支援の拠点機能の強化 ②発達障害・精神障害者等への専門的支援機能の拡充 ③高齢・重度化に対応した支援及び居住環境の改善 ④事業団立施設として経営安定化の推進 ①「産・学・官」や「医・工」連携の共同研究による製品化、実用化の推進 ②家庭介護・リハビリ研修センターの機能を統合し、研究開発や研究結果を取り入れた研修・相談機能の充実
	(2) 高齢者施設	イ 職業能力開発施設	①介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充 ②重介護高齢者・認知症高齢者に対する自立化支援の実践 ③ユニットケアによる生活の質の向上及び居住環境の改善 ①発達障害・被虐待児童などに関する専門機関への指導・助言の拡充 ②就労移行支援事業所への指導・助言機能の強化 ③障害者高等技術専門学院との機能連携の強化 ①発達障害者など支援困難事例への専門的就労支援機能の強化 ②就労移行支援事業所への指導・助言機能の強化 ③障害者高等技術専門学院との機能連携の強化
	(3) 浜坂温泉保養荘	ウ 清水が丘学園	①障害者の保養(温泉)とリハビリ・健康づくり機能の連携強化 ②障害者・高齢者等の利用者の増加による経営の安定化 ①発達障害・被虐待児童などに対する専門機関への指導・助言の拡充 ②発達障害児童などに対する相談支援機能の拡充 ③老朽化・多様な児童問題のニーズに対応できる施設整備
2 総合リハ・西播磨総合		エ こども発達支援センター オ おおぞらのいえ	①発達障害児の診断・診療、療育(リハビリ)の実施 ②発達障害児童に関する療育機関づくりの支援、研修、助言 ①家庭で療育の困難な肢体不自由児の健全な発達の支援 ②利用促進による経営の安定化
		カ スポーツ施設	①医療・福祉など専門職との連携による障害者スポーツの振興 ②病院と連携した介護予防・健康づくり機能の強化
3 県等の指定管理による政策施設		ア 中央病院 イ 西播磨病院	①リハ医療と福祉の総合力の發揮による社会貢献 ・地域ケア・リハネットワークの実現 ②病院と施設による新たな機能の拡充 ・介護予防・健康づくり機能の強化 ・脳機能障害者等の自立支援 ・認知症ケアの実践、研究 ①リハ医療の3次機能(切断・脊髄損傷等)と高度専門医療 (人工関節・脊椎手術等)の充実 ②高次脳機能障害にに関する医療・地域ケアの先導的展開 ③子どもとのリハと睡眠障害治療の実践定着 ④専門人材を活用した地域支援の展開 ①高度専門リハ医療(神経疾患、高次脳機能障害等)の充実 ②認知症に関する医療・地域ケアの先導的展開 ③音楽療法・園芸療法の実践 ④地域へのセラピスト等派遣による介護予防・健康増進事業の充実